

平成31年度 学校自己評価システムシート（県立深谷第一高等学校）

目指す学校像	1 広い視野を持ち、自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。
--------	---

重点目標	1 授業研究を推進し、学習指導の充実を図り、高い学力を身に付けさせる。 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 部活動と生徒会活動を更に活性化させる。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動を更に充実させる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	8名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 生徒が授業に真面目に取り組んでおり、学力向上に向けた授業への工夫改善が求められる。 【課題】 自学自習の習慣を確立させ、学習内容を身に付けさせるため、家庭学習(自己学習)の意欲を高める指導が必要である。	主体的・対話的で深い学びの実践(授業改善の推進)	①年次研修の研究授業や授業公開週間中の互見授業ならびに研修会等による指導力向上 ②授業時数の確保 ③定期考査後の振り返り授業の実施状況	①年次研や授業公開での授業研究と研修会の実施状況 ②授業振り替えの徹底 ③定期考査後の振り返り授業の実施状況	授業改善を意識し、着実に取組んだ。 ①中学校教諭との授業研究協議会(英語科)を含め、延べ7回実施 ②さらに行事の精査・削減の検討が必要 ③出題内容も含め、定期考査を活用した指導を実践	A
		自学自習の定着	①教科・学年間の連携を深め、予習・復習の徹底と家庭学習時間の確保 ②教科の特色を生かした課題等の工夫 ③課外補習等の講座開設	①自己学習時間の増加 ②プリント学習(課題)の増加 ③補習日の設定と課外講座等の開設講座数の増加	課題の提示や考査を活用し、自学自習の定着に取組んだ。 ①1・2学年で学習時間が増加 ②予習・復習を意識した課題を提示 ③開講27講座(H30 34講座)アンケートを実施し、生徒の望む講座を開講	B
2	【現状】 進路実績は向上しているが、生徒の多様な進路実現に向けきめ細やかな指導が求められる。 【課題】 進路指導計画及び大学入試改革についての情報周知と将来を見据えた堅実な進路選択の促しと、より高い目標への挑戦に向けた意欲の喚起が必要である。	キャリア教育の推進	①入試改革に対応する3年間を見通したキャリア教育の実施 ②ガイダンス機能の充実 ③保護者への情報提供	①スタディサポート・進路の手引きの活用によるキャリア教育の視点で進路指導計画策定、進路指導の実施 ②分野別ガイダンスや卒業生の進路体験発表会等の企画・実施 ③ホームページや進路だよりの閲覧等保護者への情報の浸透状況	年間を通しキャリア教育を推進した。 ①②年間計画どおり実施し生徒の意識が向上 ③保護者アンケートより「進路情報は保護者まで届いている」72.6%(H30 68.8%)	A
		生徒の進路への関心・意欲の向上	①個別の進路相談、面接指導の充実 ②2学年から一般受験対応クラスを設置 ③「総合的な探究・学習の時間」を利用した外部教育力の活用 ④課外補習体制の充実	①進路相談、面接指導の充実による現役進路決定率の向上 ②一般受験対応クラスの一般受験生の増加 ③外部講師による講演会等の複数実施 ④課外補習への参加生徒数の増加	生徒の希望進路実現のため、きめ細から指導を実践した。 ①進路決定率74.8%(H30 70.0%) ②一般受験生42名(H30 53名) ③外部講師による講演会を12講座開講 ④参加生徒数151名(H30 266名)	A
3	【現状】 社会の一員としての自覚と責任感を深め、社会に貢献できる人間育成を目指し部活動と学校行事等の活性化を図っている。 【課題】 部活動や生徒会活動の連携強化及び更なる規範意識・生活態度の向上を図る必要がある。	部活動等の活性化	①部活指導の一層の充実 ②トレーニング室の安全有効活用 ③学校行事の充実と発展	①1年生全員加入と定着率の増加 ②トレーニング室の活用状況 ③生徒による文化祭等の自主的運営状況	生徒が主体的に行事等に取組んだ。 ①1年生全員加入達成 部活動加入率86.0%(4月)79.7%(2月) ②活用状況は良好 ③生徒が主体的に活動	A
		規律ある態度の育成	①自転車運転マナーの組織的指導 ②スマホの適切な使用時間管理 ③生活ルールの指導の充実	①登下校時のマナーアップの状況 ②「スマホのルールづくり」への取組状況 ③「時を守り、場を清め、礼を正す」指導の徹底	年間を通し、組織的に指導した。 ①学期当初の登校指導週間における指導 ②来年度の課題 ③学年主体で粘り強い指導を実践	B
4	【現状】 中学生の減少が続く中で、地域からの評価は高まっている。保護者アンケートの集計結果からも本校に対する期待は非常に大きくなっている。 【課題】 効果的な生徒募集を継続するとともにホームページの内容を更に充実させ本校からの情報発信力を高める。	広報活動と生徒募集の充実	①学校内外の説明会の実施 ②ホームページの更新や、最新の教育活動内容(大学入試改革、学校行事、部活動等)の発信 ③保護者アンケートの継続実施	①学校説明会・個別相談会参加者の増加 ②ホームページのPRと更なる充実 ③保護者アンケートの実施・集計・報告	本校の魅力を発信しホームページの閲覧数年間70万件と飛躍的に増加した。 ①2,034名(H30 2,482名)第3回学校説明会は台風の影響により中止 ②中学校での説明会や個別面談でPR ③学校評価に活用	A
		地域と交流及び学校内外の美化の促進	①地域交流活動への積極的参加 ②PTA・生徒会主導による学校内外の美化活動の推進 ③協定校との連携強化	①地元小学校等との交流や深谷市関連行事への参加人数 ②生徒、PTAによる美化活動の実施状況 ③協定校との連携事業実施状況	年間を通して推進し、参加生徒が達成感を感じ、成長が見られた。 ①延べ184人の生徒が参加 ②年2回の花の植替を実施 ③協定校と8・11・2月に連携事業実施	A

学校関係者評価	実施日	2月12日
---------	-----	-------

学校関係者からの意見・要望・評価等

・授業に生徒が意欲的に取り組んでおり、意欲ある教員が良い生徒を育て、質が上がっていると感じる。地域の自慢である。
・わかりやすい授業が多い。
・家庭学習の習慣の定着を希望する。

・GTECやe-ポートフォリオに関しては、生徒にその有用性を徹底させることが必要である。
・中学生が進学したいと思う憧れの学校である。ぜひ「ワンランク上の学校」を目指していただきたい。
・自分の好きなことを何か一つ極めること、困難を乗り越えた経験が自信につながっている。

・生徒の特別指導がなかったということは自慢の一つである。
・自転車に乗りながらのスマートフォンの操作はぜひやめさせたい。事故があつてからでは遅い。
・緑や花に囲まれ、自然を大切にしている。文字では表せない人の心を和らげる効果がある。

・地域交流活動を推進しているが、中学校との交流も検討いただきたい。
・ホームページをスマートフォンで見ている保護者が増加しているようである。部活動の記事の更新を要望している保護者が多く、ぜひお願いしたい。
・高校間で学校説明会の回数等を競争している風潮があるが、量より質である。